

2021年5月12日

各位

上場会社名 株 式 会 社 博 展 (コード番号: 2173 東証JASDAQ) 本社所在地 東京都中央区築地一丁目13番14号代 表 者 代表取締役社長 田口徳久問合せ先 取締役経営本部長 田中雅樹電話番号 03(6278)0010

通期業績予想と実績値の差異並びに個別業績と前期実績値との差異、 及び特別損失に関するお知らせ

当社は、2021年2月15日に公表しました2021年3月期通期業績予想と本日発表の実績値に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、2021年3月期の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じるとともに、特別損失を計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想と実績値の差異について

(1) 2021年3月期 通期連結業績予想数値と実績値の差異(2020年4月1日~2021年3月31日)

(単位:百万円)

(中區: 日271)					
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり
					当期純利益
					又は1株当たり
					当期純損失
前回発表予想(A)	7, 090	△850	△565	△300	△37 円 70 銭
当期実績 (B)	7, 272	△587	△312	△153	△19円59銭
増減額(B-A)	182	262	252	146	
増減率 (%)	2.6	_			
(ご参考)前期実績	12, 921	645	649	409	51 円 92 銭
(2021年3月期)					01 円 92 銭

(2) 差異が生じた理由

営業利益、経常利益及び当期純利益は、内製化に積極的に取り組み、外注コントロールに努めたことで、前回発表予想時点より売上総利益率が 2.7 ポイント改善したこと等により、それぞれ上回る結果となりました。

2. 通期個別業績と前期実績値との差異

(1) 2021年3月期 通期個別業績と前期実績値の差異(2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり
					当期純利益
					又は1株当たり
					当期純損失
前期実績(A)	11, 974	541	546	343	43円57銭
当期実績 (B)	6, 497	△631	△316	△162	△20円77銭
増減額 (B-A)	△5, 476	△1, 173	△862	△506	
増減率 (%)	△45. 7	_	_	_	

(2) 差異が生じた理由

当連結累計期間における当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染拡大の収束の兆しが見られないため、行政機関よりイベント開催等の自粛要請が続き、また企業も広告宣伝費の抑制に動いたことから、大変厳しい事業環境となりました。

売上高は、展示会出展、商談会・プライベートショー、イベントプロモーション、カンファレンス・セミナーというリアルイベント分野において、新型コロナウイルスによる開催自粛・縮小の影響を受け、大きく減少しました。

また、内製率を高める等の利益改善施策や、経費等の見直しによる固定費圧縮にも努めましたが、減収分の全てを補うには至らず、利益面につきましても下回る結果となりました。

なお、営業外収益として雇用調整助成金や特別利益として旧制作スタジオの資産売却益等を計上した こと等により、経常利益と当期純利益はそれぞれ損失幅が縮小いたしました。

3. 特別損失の計上

(1) 個別決算における特別損失の内容

(減損損失)

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、当第4四半期会計期間において、組織変更に伴う基幹システムの開発の見直しによる減損損失76百万円を計上いたしました。

(2) 連結決算における特別損失の内容

(減損損失)

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、当第4四半期連結会計期間において、グループ間取引で認識していた基幹システム開発にかかる未実現利益16百万円を消去し、減損損失60百万円を計上いたしました。

(3) 連結業績に与える影響

上記の特別損失の計上が連結業績に与える影響につきましては、本日公表の「2021年3月期決算短信 [日本基準](連結)」をご参照ください。

以 上